

あなた：ここは危ないので、もう少しさがったほうが安全です。（※危険な所にいる方を見かけたときは、「危ない！」とさげんだりしないで、わかりやすいことばで説明しましょう）

講演会などの会場で、立っている人を見かけたとき
あなた：あいている席にご案内しましょうか。

いっしょに階段やエスカレーターを歩くとき
（あなたの肩や腕につかまってもらって）

あなた：上りの階段です。
あなた：下りのエスカレーターに乗ります。
（と言って先に歩きはじめます）



株式会社アメディア
<https://www.amedia.co.jp>



声かけカード

「お手伝いしましょうか」と声をかけてみましょう

目の不自由な方を見かけたら



YouTube、SNS

目が見えなくても歩ける
ナビシタ・バリアフリーマップ



街のなかで、こまったようすで立っている人を見かけたとき
あなた：こんにちは。何かお手伝いしましょうか？

交差点で、信号のようすがわからない人を見かけたとき
あなた：青に変わったからお知らせします。
あなた：青です。ごいっしょに渡りましょう。

道で、迷っているかも知れないと感じたとき
あなた：こんにちは。何かお手伝いしましょうか？
※道を説明するとき、「あちら」「こちら」などのことば
や、指をさして説明することは目の不自由な人にはわかり
にくいやりかたです。「まっすぐ」「右」など、はっきり
したことばで説明しましょう。

道で、自分と同じ方向に歩いている人を見かけたとき
あなた：こんにちは。同じ方向に行きますのでいっしょに行き
ましょうか。（※どちゆうまでしかいっしょに歩けな
いときでもかまいませんので声をかけましょう）
駅で、何かをさがしているようすで立っている人を見かけたとき
あなた：こんにちは。どこかおさがしですか。
あなた：こんにちは。どなたかとお待ちあわせですか。その方
をおさがししましょうか。
あなた：どこ行きの電車にお乗りですか。電車がきましたので
中までご案内しましょう。
あいている席に、ご案内します。

★目の不自由な方をガイドするときのポイント★

・目の不自由な方は、あなたの腕または肩につかまって歩きます。つかまる場所は人によってちがいますので、おたがいに歩きやすい、自然なやりかたでガイドしましょう。 ・うしろから腕をだきかかえて、階段や電車に乗るのを手伝ってください。体が地面から浮くような自由な人にとってはこれが一番こまります。体が地面から浮くような気がして、とてもこわいからです。目の不自由な人が自分で動作ができるようにガイドをしましょう。
・あなたは通ることができても、横にいる目の不自由な方が障害物にぶつかってしまふこともありますので、いつも「二人分の幅」に気をつけましょう。

・あなたがいつも、半歩前を歩いてください。そうです、うしろからついてくる盲導犬はいません。
・階段を下りるときや電車に乗るときでも、あなたが先に歩きだしてください。あなたの体の上下の動きかたで、つぎにどのようなに踏みだしたらよいのかがわかります。

★★ 相手側の身になって、
気もちのよいガイドができるように心がけましょう ★★

声かけカード 組み立て方

1 枠線で各ページをカットする



2 テープでつなげる

星のキャラクターのページと

目の不自由な方をガイドするときのポイントの

ページが隣り合うようにして裏面をテープで繋げます。



3 折りたたむ

1回目



2回目

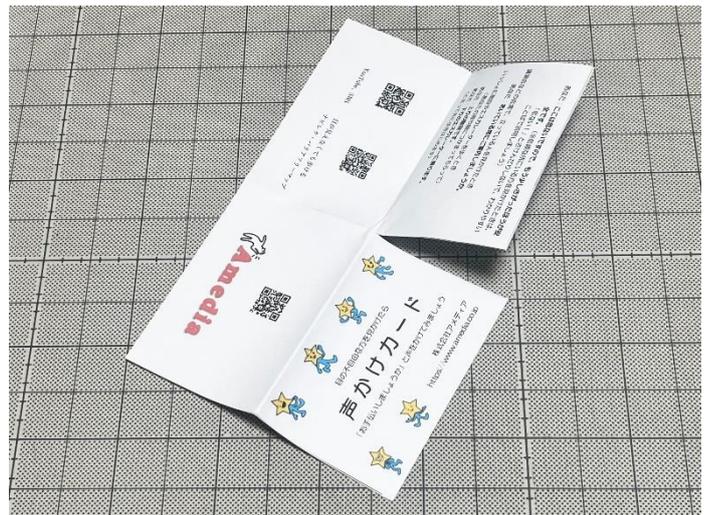


3回目

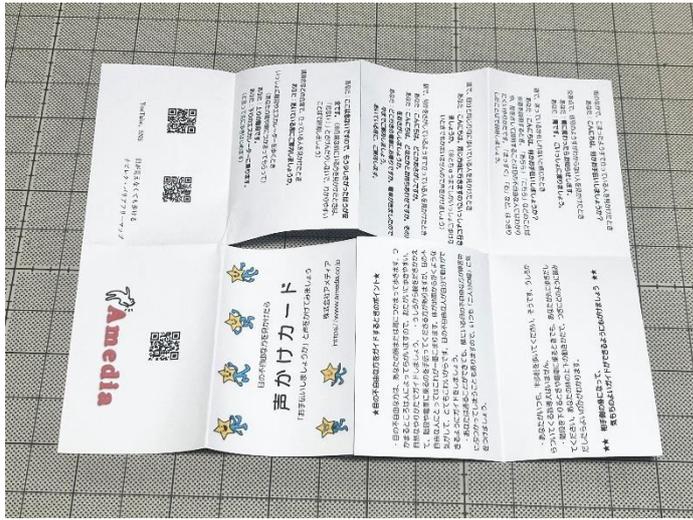


4 はさみで切れ込みを入れる

折り目をついたら1段階開いて、キャラクターのページと横に並ぶページの間を半分まで切ります。



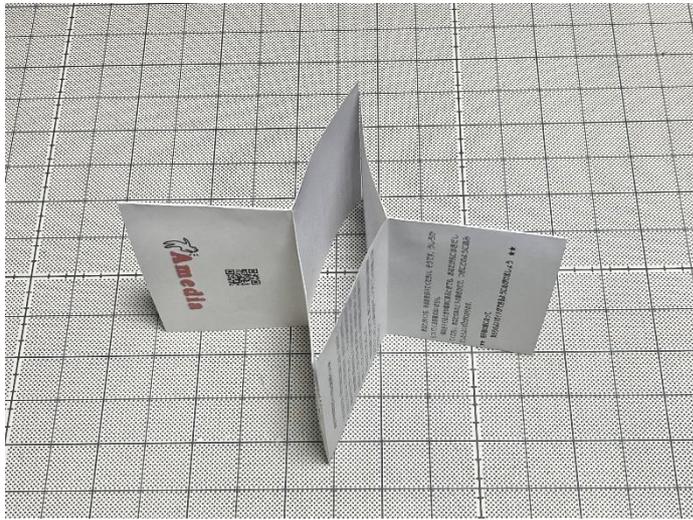
5 折り目をつけたら開く



6 真ん中の折り目を山折りにする



6 山折りにした部分をそれぞれつまんで開き、残りの折り目も山折りにする



7 全体を閉じて完成

